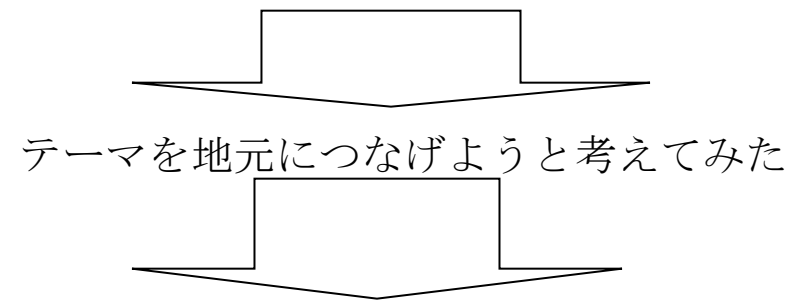


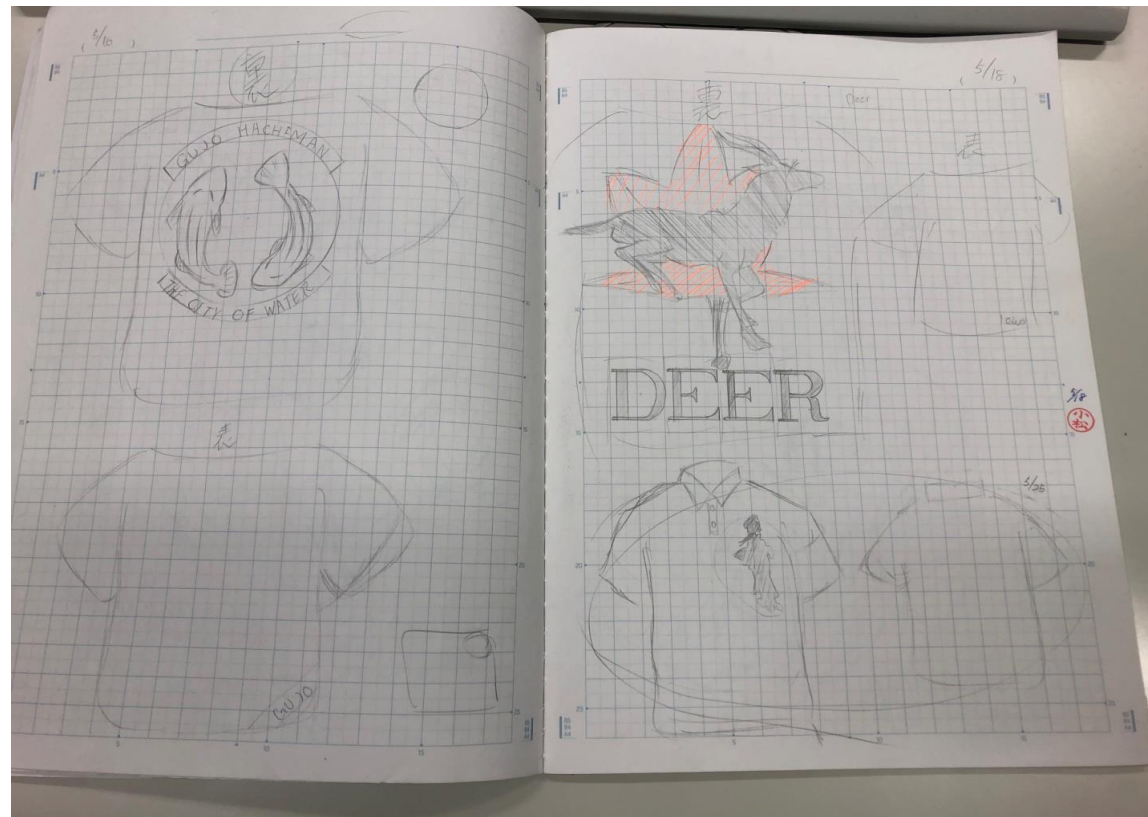
Q.なぜこのテーマにしたか？

A.英語のTシャツのロゴの意味やなぜこの英語を使っているのか気になった



郡上のTシャツのデザインを作ろう！となった

1 デザインを考えてみる。



左;やはり郡上と言えば鮎のイメージが強いので鮎のデザインにした。よく見ると鮎でGJ(郡上)と描いてあり、**The city of water (水の町)**と書いてある。

右;個人的なイメージで郡上には鹿がたくさんいる気がするので鹿を描いてみた。**鹿は英語で**

DEERと言います。郡上市の木がもみじなのでバックに描いてみた。プーマみたい。

右下;ポロシャツがほしかった時期に書いたのでポロシャツになっている。日本3大踊りにもんを連ねる、郡上踊りのデザインは欠かせないと思い、浴衣を着た女性のシルエットを描いた。

2 町でインタビュー。

郡上で売っているTシャツのデザインと売れ筋について聞いた。

おもに年配の方、しかも地元の。観光客や若い人は買わないそうです。

そこで、ターゲットを小さい子連れのファミリーに絞った。

3 別のデザインを考えた。



鮎菓子のデザインに変えた。中にPAPA, MAMA CHILDと書いてあり、家族でペアルックして着れるものにした。2018年夏のトレンドであるロゴTシャツにした。八幡に観光に来た人が気軽に買って着れるようなデザインがいいと思った。ロゴの位置のSupreme感が否めない。他にもTシャツ以外に明宝ハムをモチーフにしたペン or メガネケースのデザインも考えた。

4 まとめ

1年を通してデザインを1から考える大変さや郡上の現在のデザインや物販の現状を知ることができた。郡上は飲食店は増えていて、そこを推してはいるけどサンプル以外の物販の押し弱いと感じた。

Tシャツのデザインを考えたのだから、1枚くらい作ってみればよかったと思う。

もしこの展示を見ていいと思った人がいるなら、作ってみてほしいです。